

## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月13日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3143 URL https://owill.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊達 一紀  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03-5772-4488  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	9,386	15.6	381	33.3	353	36.5	232	31.9
2024年3月期第1四半期	8,117	2.2	286	△5.1	259	△1.5	176	△0.6

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 291百万円 (10.8%) 2024年3月期第1四半期 262百万円 (12.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	77.78	-
2024年3月期第1四半期	55.99	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	18,482	4,686	24.5
2024年3月期	13,629	4,544	32.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 4,534百万円 2024年3月期 4,401百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	50.00	50.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	0.00	-	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	10.1	1,030	7.4	1,030	13.2	700	2.7	234.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有  
新規1社 (社名) 株式会社海鮮、除外1社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	3,150,000株	2024年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	160,329株	2024年3月期	160,329株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	2,989,671株	2024年3月期1Q	3,149,690株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(企業結合等関係)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や好調なインバウンド需要等に支えられ、日経平均株価が1989年以来の最高値を更新するなど、景気の緩やかな回復が見られました。しかしながら、ウクライナ紛争の長期化、中国経済の減速懸念、欧米の金融政策の影響を受けた円安相場の継続などを背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界においては、原材料価格の高騰や人件費の上昇等に対応した商品の値上げの影響により、消費者の節約志向が強まる傾向が見られ、今後の経営環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況のもと、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。卸売事業において、主力カテゴリーである農産加工品及び食品副原料の販売が堅調に推移したことに加え、製造販売事業において、株式会社海鮮を子会社化したことにより当第1四半期連結累計期間の売上高は9,386,933千円（前期比15.6%増）となりました。売上高の増加に伴う売上総利益の増加により、営業利益は381,438千円（前期比33.3%増）となりました。経常利益は353,558千円（前期比36.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は232,528千円（前期比31.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <卸売事業>

清涼飲料市場においては、エネルギーコストや原材料価格の高騰に伴う飲料メーカー各社の商品値上げが浸透しつつあり、出荷数量は前年同期並みで推移したものの、経営環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め既存取引先のサービス向上と新規商材の開発・販促に注力してまいりました。主力カテゴリーである果汁やピューレなどの農産加工品、糖類や香料などの食品副原料の売上高が前年同期に比べ増加したことから、卸売事業の売上高は8,354,547千円（前期比3.4%増）となりました。

#### <製造販売事業>

アイスクリーム市場においては、平年を上回る気温や大型連休の好天の後押しもあり、市場全体の販売金額は拡大傾向を維持しています。当社グループはNB商品の販売強化ならびに取引先のニーズに合ったPB商品の提供に努め、販売金額は前年同期比で拡大して推移しました。

また、2024年4月1日に株式会社海鮮を子会社化したことにより、製造販売事業の売上高は大幅に増加しました。同社は小売業向け、外食産業向けに鮮凍魚介類及び魚卵類の加工販売を中心に事業を展開しております。当第1四半期会計期間においては、外食産業の好調な市場動向の影響を受け、同社の業績は堅調に推移し、製造販売事業の売上高は1,294,494千円（前期比526.6%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

2024年4月1日に株式会社海鮮の株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、当第1四半期連結会計期間末において資産及び負債の額が増加しております。主な要因は下記の通りとなります。

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ4,595,123千円増加し、16,841,674千円となりました。主な要因は、現預金、売掛金及び商品及び製品の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ257,415千円増加し、1,640,377千円となりました。主な要因は、差入保証金及び繰延税金資産の増加によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,852,538千円増加の18,482,051千円となりました。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ3,423,832千円増加し、11,068,253千円となりました。主な要因は、買掛金及び短期借入金の増加によるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,287,128千円増加し、2,727,445千円となりました。主な要因は、社債、長期借入金及び退職給付に係る負債の増加によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ4,710,961千円増加し、13,795,698千円となりました。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ141,576千円増加し、4,686,353千円となりました。主な要因は、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月13日に発表いたしました数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,851,414	3,040,562
受取手形	151,863	204,498
売掛金	6,247,805	8,087,553
商品及び製品	2,448,300	3,386,070
未着商品	858,729	1,289,581
原材料及び貯蔵品	95,287	108,911
未収入金	154,627	180,982
その他	483,963	595,389
貸倒引当金	△45,441	△51,875
流動資産合計	12,246,551	16,841,674
固定資産		
有形固定資産	537,641	575,383
無形固定資産	45,271	83,706
投資その他の資産	800,049	981,287
固定資産合計	1,382,962	1,640,377
資産合計	13,629,513	18,482,051
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,042,257	7,660,885
1年内償還予定の社債	—	80,000
短期借入金	—	800,000
1年内返済予定の長期借入金	844,982	1,819,762
未払金	292,888	293,635
未払法人税等	166,636	158,774
賞与引当金	47,908	33,755
その他	249,747	221,441
流動負債合計	7,644,420	11,068,253
固定負債		
社債	—	200,000
長期借入金	1,349,142	2,242,665
資産除去債務	9,881	12,950
退職給付に係る負債	—	36,871
その他	81,292	234,958
固定負債合計	1,440,316	2,727,445
負債合計	9,084,736	13,795,698
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	3,678,501	3,761,546
自己株式	△203,332	△203,332
株主資本合計	4,131,032	4,214,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,223	118,031
繰延ヘッジ損益	4,247	34,834
為替換算調整勘定	134,512	167,813
その他の包括利益累計額合計	269,982	320,679
非支配株主持分	143,761	151,596
純資産合計	4,544,776	4,686,353
負債純資産合計	13,629,513	18,482,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	8,117,071	9,386,933
売上原価	7,221,430	8,291,195
売上総利益	895,641	1,095,738
販売費及び一般管理費	609,388	714,299
営業利益	286,252	381,438
営業外収益		
受取配当金	3,287	1,237
受取補償金	3,634	—
その他	2,255	1,437
営業外収益合計	9,177	2,674
営業外費用		
支払利息	2,686	9,080
為替差損	33,179	21,080
その他	510	394
営業外費用合計	36,376	30,554
経常利益	259,053	353,558
特別利益		
固定資産売却益	—	919
投資有価証券売却益	1,120	—
特別利益合計	1,120	919
税金等調整前四半期純利益	260,173	354,478
法人税、住民税及び事業税	73,195	152,245
法人税等調整額	6,730	△28,406
法人税等合計	79,926	123,838
四半期純利益	180,247	230,639
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,897	△1,888
親会社株主に帰属する四半期純利益	176,350	232,528

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	180,247	230,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,151	△13,191
繰延ヘッジ損益	24,460	30,587
為替換算調整勘定	53,921	43,024
その他の包括利益合計	82,533	60,420
四半期包括利益	262,780	291,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	246,697	283,225
非支配株主に係る四半期包括利益	16,083	7,834

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

1 当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	11,377千円	17,520千円
のれんの償却額	—	2,122

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,011,472	105,599	8,117,071	—	8,117,071
セグメント間の内部 売上高又は振替高	67,805	100,987	168,793	△168,793	—
計	8,079,277	206,587	8,285,865	△168,793	8,117,071
セグメント利益	279,423	2,629	282,053	4,199	286,252

(注) 1. セグメント利益の調整額4,199千円は、セグメント間取引消去4,199千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,280,169	1,106,763	9,386,933	—	9,386,933
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74,377	187,731	262,109	△262,109	—
計	8,354,547	1,294,494	9,649,042	△262,109	9,386,933
セグメント利益	327,444	97,070	424,514	△43,076	381,438

(注) 1. セグメント利益の調整額△43,076千円は、子会社株式の取得関連費用及びセグメント間取引消去等△43,076千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

製造販売事業セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間に株式会社海鮮の株式を取得したことに伴い、のれんが42,457千円発生しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

当社は2024年3月25日開催の取締役会において、株式会社海鮮の全株式を取得し、子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。当該株式の取得は、2024年4月1日に完了しております。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称 株式会社海鮮

事業の内容 鮮凍魚介類の輸入及び国内買付販売、魚卵の輸入及び加工販売

② 企業結合を行った理由

当社グループは、商社として、食を中心とした事業を展開しており、主に食品原材料の国内販売及び輸出入取引を行っているほか、アイスクリーム等の製造販売を行っております。また、事業の多角化を図るべく新規事業の開発にも注力しており、近年では環境事業への取り組みを推進し、関連アイテムの販売活動を行っております。

株式会社海鮮は鮮凍魚介類の卸売事業並びに魚卵の輸入・加工販売事業を中心に事業を展開しております。当社グループは新たな事業の柱を構築する上で、水産分野への進出が当社グループの更なる成長に繋がるものと判断し、本株式を取得いたしました。

③ 企業結合日

2024年4月1日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

⑥ 取得する議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	525,331千円
取得原価		525,331千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等	53,986千円
-----------	----------

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん

42,457千円

なお、のれんは、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力により発生したものであります。

③ 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	2,146,203千円
固定資産	449,023
資産合計	2,595,226
流動負債	1,244,069
固定負債	868,282
負債合計	2,112,352